

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

中野地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

プラザの担当エリアは、古くからの住民の多い地域では高齢化が進む一方で、幹線道路沿いはマンション開発に伴う子育て世代の増加が特徴としてあります。それに伴い、ケアプラザとしても幅広い年齢層・世代の多様なニーズに沿った事業展開と支援を行いました。

現在は民生・児童委員、地区社協が中心を担い活発に住民活動が行われていますが、一方では後継者が少ないことが課題となっています。担い手の不足や高齢化はどの地域でも共通課題となっていますが、地域活動へと繋がる事業の開催について特に重点をおき事業を実施しました。

#### (2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・「杜の生活支援室」でかかわっている利用者の困りごとに対して、介護保険制度につながる解決に導きました。引き続き障がいや高齢の枠を超えて必要な支援を共に協働しながら考えていきたいと思えます。
- ・栄区生活支援センターと基幹相談支援センターとカンファレンスを重ねながら、地域に暮らす閉じこもりがちの精神障害者の対応にあたっています。
- ・今年度はこどもに関する相談はありませんでしたが、必要であれば区役所の子ども家庭支援課等と連携をはかりたいと思っています。

#### (3) 各事業の連携

今年度の後半より、地域包括支援センターと地域活動交流部門と生活支援コーディネーターと共に3部門（5職種）会議を月1回開催しています。今後のインフォーマルサービスグループの創出についての取り組みや、地域情報の共有をおこなっています。具体的には1月末に実施した福祉教育の一環として子どもと大人の会議「だれもが住みやすい優しいまちにするためにみんなで出来ることを考えよう」の開催にあたり、3部門が協働実施しました。

#### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・各事業とも人員配置基準に従い、必要な資格要件を満たした職員を適正に配置し運営しました。
- ・自主事業及び貸し館業務において、サービスの向上を図り地域との関係性を密にしていく上でも窓口業務の強化に力を入れてきました。
- ・OJTに努めるとともに、外部研修へ積極的に参加することで、個々の専門性を高め資質向上に努めました。
- ・公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対し公正中立な立場で業務にあたりました。特に介護保険事業関係においては、相談者の意志を尊重した事業所の選択を心掛け、事業所の一覧を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が分かるよう取り組みました。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・地域の福祉保健関係団体や関係者と協力し、各事業の推進に取り組みました。各自治会・町内会訪問を実施して地域住民の現状をより反映させた事業の推進を強化するための取り組みが少しずつ実現してきています。
- ・毎月定例の本郷第三地区連合の広報部会に参加し、地域のニーズや課題の共有や解決に向けての情報交換などを行いました。

#### (6) 区行政との協働

- ・第3期計画の推進において、栄区・区社協とともにの事務局を担い、連携して地域支援に努めました。
- ・また生活支援課の開催事業で情報提供を行うなど、地域課題解決への取り組みに協力しています。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

- ・定例の自主事業の継続とともに、高齢者や障がい児、子ども関連支援事業を包括支援センター、生活支援コーディネーターや関係機関との連携のもと、運営開催しました。
- ・新たな地域の担い手となる人材確保や参加者同士の交流を目的に、利用の少ない男性等も巻き込むことが出来る様な連続講座（あげあげ講座）や集いの場を企画し、新たな活動者に繋げました。
- ・継続した課題の一つである、貸館の夜間帯の利用率を増やす為、今年度も夕方から夜間の講座（なかのDEナイト）を開催し、日中ケアプラザに足を運ぶことの少ない、新たな年代層にもケアプラザが健康的に趣味なども楽しめる場所として認識して頂けるよう働きかけました。また、講座を通して交流を深めた参加者同士が、新たに自主グループ化する為のサポートを行いました。
- ・今年度も桜井小の4年生の総合学習の時間を利用し、学校側との連携を密にした年齢に応じた福祉教育を年間6回実施しました。「地域の色々な人に関わる」ことを大き

なテーマとし、障がい当事者との交流や高齢者、認知症などへの理解の学びのほか、「だれもが住みやすい優しいまちにするためにみんなで出来ることを考えよう」をテーマに子どもと地域を支える大人の意見交換会を開催し、今の自分達に出来る事について考えるきっかけづくりを行いました。カリキュラムの実施には、各部門や区社協、地域の活動者の方々にも多数ご協力頂きました。

#### 【定期事業】

- ・ふれあいの会 (22回/年・地域サロン：高齢者支援事業)
- ・おたすけボラ・中野 (適宜/地域高齢者・障がい者生活支援事業)

#### 【その他】

(子ども・子育て支援事業)

- ・山田陽治さんによる「自然の楽校」 (9月開催)
- ・おやこのひろば (共催事業) (5・7・10・2月開催)
- ・母の日に手作りスイーツを贈ろう (5月開催)
- ・DIYこども工作教室 (7月開催)
- ・子育て応援講座「親子で一緒に予防救急&ふれあい遊び」(共催事業2月開催)
- ・桜井小学校 福祉教育 (共催事業) (9～1月開催 計6回)

#### 【障がい児・者支援事業】

- ・のこのこ中野(野七里CP・小菅ヶ谷CP共催/障がい児余暇支援事業 3月開催)

#### 【高齢者支援事業】

- ・なかのDEナイト(春の宵にカフェ麻雀 4月開催)

#### 【ボランティア関係・地域支援等】

- ・匠の技を学ぶ「〇〇力あげあげ講座」(3回連続 5～6月 計3回)
- ・よこはまシニアボランティアポイント講習会(7月開催)
- ・なかのDEライブ～喜楽に文化祭～(ボランティア交流・発表会 11月)
- ・スープの会 (6回/年：共催事業)
- ・おせち料理で食そう「こんにやくづくり講座」 (12月開催)
- ・貸館調理室利用団体合同 調理室掃除&棚卸し (8月開催)
- ・貸館調理室利用団体合同連絡会(Xmas クリーンパーティー)(12月開催)
- ・ポールウォーキング体験講座 (共催事業 11月開催)
- ・若年性認知症の集い「笑風の会」 (3回/年：共催事業)

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体の福祉保健活動に必要な情報提供を貸館抽選日や受付時などに行い、活動の活発化のサポートをしました。
- ・夜間の貸館稼働率の向上を目指し、夕方からの講座を企画して自主グループ化へのサポートを行いました。
- ・利用者が不便なく出来るだけ快適に貸館を利用できるよう、備品等の更新を計画的に行い利用環境の整備に努めました。
- ・日頃からケアプラザを利用して趣味やボランティア活動を行う団体向けに、活動内容の紹介・発表・新たな仲間づくりの機会の提供を行う「なかのDEライブ」を地域の誰でも気軽に集える文化祭形式で開催しました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア同士の交流や協働の場をコーディネートしていく中で、ボランティアのネットワーク構築のサポートにも努めています。
- ・「よこはまシニアボランティアポイント」登録研修会（7月）を開催し、ボランティアの意欲の向上や、個々の活動の幅を拡充できるよう支援しました。
- ・地域の高齢者・障がい者の生活支援ボランティアグループ「おたすけボラ・中野」の事務局として、引き続き活動のサポートを行っています。広範囲の地域からの依頼増加や、ニーズが多様化する中、活動者のスキルアップのための講座や新たな協力者の発掘にも努め、活動に繋げました。
- ・ボランティアを育成する為の連続講座を他部門（生活支援など）と協働して積極的に開催し、地域のニーズに合わせた新たな協力者を発掘・育成するためのサポートを行いました。
- ・趣味を楽しむ講座の開催から、新たな仲間づくりや地域活動への協力のきっかけ作りもコーディネートしています。
- ・本郷第三地区支えあいネットワークのボランティア分科会と協働し、地域の担い手向けに「認知症理解」などのスキルアップ研修を行ったり、活動者同士の意見交換の場をコーディネートしました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・自治会・町内会や地域の福祉関係団体の会議・行事に積極的に参加し、関係者との交流の中で情報の収集に努めました。
- ・登録団体の福祉保健活動が活発化するように、必要な情報提供を貸し館抽選日や受付時などに行いました。特に、H29年4月より市域で貸し館利用要綱が大幅に変更になったため変更点などを利用者に分かりやすく繰り返し説明することを心掛けました。
- ・広報誌「杜からの風」を定期的に発行し、生活に密着した福祉保健情報やケアプラザの事業について情報発信を行い、地域住民の福祉保健活動や出会いのきっかけとなるような広報誌づくりを目指しました。
- ・ホームページの更新を定期的に行い、最新の情報を提供できるよう努めました。
- ・広報さかえや地区のフリーペーパー、回覧板・掲示板を活用し、自主事業の情報の発信や広報誌などを配布しました。また、館内のパンフレットスタンドを常に見やすく整理し、地域の来館者の求める情報を分かりやすく、気軽に持ち帰れるように工夫しました。
- ・年2回、貸館利用団体連絡会を開催し、登録利用団体からのご要望、プラザからの利用時のお願いや災害時の対応など情報交換の場を設けました。また、食品衛生（食中毒など）の知識の共有も行いました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

住み慣れた町で安心して暮らしていくための‘つながりづくり’を目標に、区内・所内で連携を図りながら活動をしました。平成29年度より開催の5職種連携会議において各部門で把握している地域課題を共有し、解決のための取組や地域への提案を検討・実施しました。活動が住民主体となるよう、その思いを尊重することも心がけました。

また、単位町内会自治会やちょこボラグループ、地域福祉保健計画推進母体の会議に出席し、様々な立場からの地域に対する考えや思いに触れることができました。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域福祉保健計画推進のための会議や各町内会自治会の役員会への出席、シニアクラブやサロンへの訪問を通して生活支援と介護予防に関する現状や課題について共有しました。さらに、地域福祉保健計画推進の一環である町内会自治会訪問に参加し、そこから、生活支援の面では地域の方たちとともに高齢世帯が安心感を得られるような活動グループの創出に取り組み、介護予防の面では包括職員とともに様々な強度や難易度での実施が可能なスクエアステップエクササイズの普及に努めました。

### (3) 連携・協議の場

地域福祉保健計画の推進母体である会議体やその分科会を協議体と位置づけ、その意図をもって出席しました。29年度一年間を通し出席した単位町内会の会議では、住民の方たちの様々な思いに触れ、地道な見守り活動が行われてきた地域ならではの活動協力者の多さに驚くとともに、担い手不足解消へのヒントを得ることができました。

また、地区支援チーム会議では様々な立場からの情報を得られ、ケアマネジャー勉強会ではお互いの業務の情報共有を行い、地域の高齢者への多方面からの支援を可能にする関係作りのきっかけとなりました。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

‘担い手不足’を地域課題として捉え、新たな活動者の発掘を目的とした連続講座を6地域ケアプラザと区社協とで共催しました。特に60代男性をターゲットとしましたが、その集客には苦戦しました。このことから、ターゲットとする方たちの‘地域デビュー’へのきっかけとして有効な内容をさらに考えなければならないと実感しました。

また、隣接するケアプラザ間で地域交流エリアと包括エリアが重なる町内会自治会については、その地域課題を共有するように心掛けました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

本郷第三地区支えあいネットワークの事務局として以前より参加していますが、特に高齢者等関連分科会の中で、平成29年度は各自治会・町内会における見守り活動について調査をし、取り組みが進んで行われている自治会・町内会を全体に波及させていくための提言を地域住民とともに実施しました。またネットワーク全体の取り組みとして、各自治会・町内会訪問を地域住民と一緒に実施し、それぞれの地域特性を捉えたうえで、地域ケア会議に反映させました。そしてその後のさらなる支えあう地域づくりへの仕掛けにつなげていきたいと考えています。

#### ② 実態把握

個別相談についてはこれまで同様、訪問して実態把握につとめています。また今年度は本郷第三地区の支えあいネットワークで各自治会・町内会訪問を実施してきましたが、事務局として参加し9町内会のうち7町内会の訪問に同席し、地域の実態把握をすることができました。また同じく、本郷第三地区の支えあいネットワークの高齢者等関連分科会において、各自治会・町内会の見守り活動の実態把握をおこないました。それらから得られた地域情報を元に、個別支援に活かすと共に、生活支援コーディネーターと地域活動交流部門と協働し地域支援業務に活かしたいと考えています。また上郷東地区においてはみどりヶ丘で実施されている元気づくりステーションに出向いたり、上郷町のサロンで出前講座をおこない実態把握につとめました。また上郷西地区の亀井町や尾月はそれぞれに民生委員と地域包括支援センターと区担当職員との懇談会を開催し情報共有をしました。

### ③ 総合相談支援

平成 29 年度の 4 月から 3 月までの相談総数はのべ 809 件で、月平均 67.4 件、訪問総数はのべ 586 件で、月平均 48.8 件です。相談内容によっては、区的生活支援課、高齢障害支援担当、区社協等はもちろんのこと、栄区基幹相談支援センターや自立生活アシスタント等とも連携をとりながら支援を検討しています。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度をより身近に考えてもらう目的で 5 月に「後見制度と相続税」として神奈川県税理士会所属の税理士より講座を開催（参加者 8 名）・区内 6 地域ケアプラザ社会福祉士共催による無料権利擁護相談会を開催（当 CP は 1 2 月開催・4 組 6 名参加）しました。また、自身の思いを最後まで身近な人に託すための意志表示として後見制度やエンディングノートがあることを知ってもらうため「お墓・葬儀」の講座も開催（3 4 名参加）しています。

後見制度申し立てについて申請書の記入・候補者選定などの具体的支援を 1 件継続中です。成年後見制度をスムーズに必要なひとに繋げられるよう、横浜市主催の「成年後見制度実務者研修中級編」に参加し、実務のレベルアップにつとめました。

消費者被害防止については、正式な契約書の提示や施行までの説明が不明確と思われる建築業者と契約を結んで施行・支払いを行ってしまった 2 件の高齢者の事例に対し、横浜市消費生活センター・区役所をはじめとして民生委員やシニアクラブ役員などと連携し、本人への相談勧奨やクーリング・オフ手続きを一緒に行いました。

この事例をうけ、30 年度では地域ケア会議の実施・権利擁護講座で地域向けに消費者被害について扱うこととしています。

### ② 高齢者虐待への対応

継続して見守るべきケース（1 件）や疑われるケースについては、課題表出するごとに区を始めとする関係機関と相談し、連携して課題解決にあたりました。

「介護者のつどい」を年 4 回開催し、介護する人もされる人も安心出来る居場所や情報交換の場として「ヨガ」「回想法」「歌声喫茶」「音楽療法」を行い、延べ 7 3 名参加されました。

栄区 6 包括社会福祉士共催事業として、事業所向けの虐待早期発見・予防・対応法の出前講座を行い、3 事業所のべ 70 名の参加がありました。

### ③ 認知症

認知症のひととその家族への理解を深める普及啓発活動のため、認知症サポーター養成講座を附随させ、認知症の人とその家族の理解として介護者家族の話聞く（11 月・28 名参加）、地域のシニアクラブのサロンに出前講座に出向く（2 ヶ所・延べ 41 名参加）、民児協での勉強会（17 名参加）、桜井小学校 4 年生への福祉教育（延べ 50 名）を通年開催しました。

区内 6 地域ケアプラザ共催の「笑風の会」（年 3 回）に参加し若年性認知症の人とその家族の支援をおこないました（本人・家族延べ参加 50 名）。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

平成 29 年度は栄区のケアマネジャーの自主連絡会である栄ケアネットの協力担当の地域包括支援センターとして研修策定などに一部かかわりました。また実施した包括レベルの地域ケア会議に栄区内で活動する主任ケアマネジャー10 名にグループワークのファシリテーターを依頼し、地域住民や関係機関等と意見調整をしてもらうなど、会議以降も続けて連携構築ができるような工夫をしました。

#### ② 医療・介護の連携推進支援

平成 29 年度から始まった栄区多職種ワーキンググループに参加しています。これは栄区の医療と介護の連携の目指すべき姿を考えるもので、出席者は医師、歯科医師、薬剤師、行政職員、ケアマネジャー、介護士、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護、病院、地域包括支援センターそれぞれの代表者であり、29 年度は主に「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた栄区行動指針」の策定に協力しました。

#### ③ ケアマネジャー支援

栄区内の地域包括支援センター6 館の主任ケアマネジャーが協働して、新任・就労予定ケアマネジャーが出来るだけ実務に活かせるような内容で研修を年間 4 回企画実施しました。その中で主任ケアマネジャーの更新要件を考慮し、居宅介護支援事業者の主任ケアマネジャーに講師依頼し、新任ケアマネジャー向けに研修をおこなってもらう機会を 1 回作りました。また 1 月には区内のケアマネジャー30 名と各ケアプラザの生活支援コーディネーター4 名と区役所及び区社協職員も含めて「生活支援コーディネーターと連携しよう」と題してケアマネ勉強会を開催し、ケアマネジャーが持つ個別ニーズを生活支援コーディネーターが知る地域ニーズと結びつけ、共に地域包括ケアシステムの構築を目指すための第一歩の顔合わせの機会としました。

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

“住み慣れた地域で安心して暮らしていくため”の具体的な取り組みや問題をいろいろな職種の方や地域の方と一緒に話し合う地域ケア会議を年間 7 回実施し、医師や法律関係者、病院関係者、町内会長、民生委員や介護従事者等延べ 233 名の方にご出席していただきました。そのうち個別の地域ケア会議が 4 回でテーマは独居高齢者や生活困窮者や認知症高齢者を取り上げ、そうした方々を地域でどのように支えていくことができるかを検討しました。

また包括レベルの地域ケア会議は 3 回実施し、「家で死ぬということを考える」という多死社会の課題をテーマに取り上げたり、福祉教育を兼ねて小学 4 年生と大人と一緒に「住みやすいまちとは？」というテーマで考えたり、また「10 年後の暮らしを考える」というテーマで地域住民同士のつながりをつくり、さらに地域住民同士が支えあい助け合うまちづくりを検討しました。

### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業）

### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

栄区内6包括支援センター保健師職等主催で、11月に「高齢者の栄養について」を開催し、介護支援専門員も参加されました。また、2月には区役所との共催で介護予防支援・ケアマネジメント従事者研修を実施しました。

H29年も総合事業についての正しい知識やケアプランへのアドバイスとして窓口に来た時や、研修時などに周知していきました。

### (6) 一般介護予防事業

#### 一般介護予防事業

介護予防普及強化事業として尾月への口腔・栄養・運動の3回シリーズの出前講座とを開催しました。当ケアプラザでは、運動と認知症予防を中心とした介護予防講座を生活支援コーディネーターと共催でスクエアステップエクササイズの2つめの自主グループを目指して開催し、H30年から自主グループが立ち上がりました。

地域から依頼のある介護予防に関する出前講座は6回ほどあり、他に月1回のスクエアステップを主とした健康講座も継続しています。

シニア向けの認知症サポーター養成講座は、認知症予防に関する質問が多くあります。シニアにとっては、認知症予防への関心が強い為、今後も講座の中心的課題として取り組んでいきたいと思っております。

### 5 その他

--

## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 7 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

- ・ 建物、設備面において著しく老朽化が進んでおり、あらゆる面で不具合が出やすくなっています。8月にはエレベーターが停止し、復旧まで時間を要してしまい施設利用者にも不都合をかけることができました。今後は複合館の SELP・社とともに、横浜市と協議を行いながら予防保全を心掛け、市民利用施設として安全性の確保と、良好な機能の保持を目的として適切な維持管理に努めます。
- ・ 職員一人ひとりが各部の日常的な点検・整備・美化の意識を持ち、快適で安全な空間づくりに取り組んでいます。

#### (2) 効率的な運営への取組について

- ・ 地域ケアプラザの機能を発揮できるよう、部門間で連携を緊密に取り課題解決にあたりとともに事業展開を行いました。
- ・ 適正な人員配置を行ったうえでの適切な労務管理、節電対策、物品購入時の十分な検討など運営を行うための経費節減、経営努力に努めました。

#### (3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情に関しては、法人の苦情解決規定、また事業所の「苦情対応マニュアル」に従い対処します。各部門に「相談・苦情窓口」を設け、受け付けた職員が相手の話を良く伺い上司に報告、部門により対処できる内容か、現場職員（所長・副所長・部門管理職・担当職員）で構成する内部の苦情対策委員会あるいは、法人の苦情対策委員会であるか、行政機関への申し立てが必要であるかを迅速に判断し対応します。また申し立て・対応内容は詳細に記録し、内容に応じて関係機関に報告します。いただいた苦情は、真摯に受け止め業務改善に活かします。
- ・ 館内にご意見箱を設置し、ご意見ご要望を申し出やすい環境を整えています。また定期的に利用者アンケートを実施し、環境の改善やサービス体制の見直しに繋げています。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 防犯対策において今年度は防犯カメラ、また警備会社への緊急連絡ボタンを設置しました。夜間は警備会社に委託し機械警備で対応しています。職員は、要施錠箇所の確認を行い防犯に努めています。
- ・ 金庫の小口現金の適正管理を行いました。（現金を置かないよう努めます）
- ・ 消防計画に基づき防災訓練（火災、地震）を実施しました。（年3回）
- ・ 特別避難場所として発災時の対応の訓練や備蓄物資の点検を実施しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・ヒヤリハットに取り組み、また職員全員でその内容を共有することによって大きな事故に結びつかないように取り組みました。
- ・副主任以上で構成されるリスクマネジメント委員会では、事故の内容に関わらず部門を超えて問題を共有しサービスの内容、職員の知識技術とあらゆる面で改善、向上に結びつくように努めています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報漏えい防止チェックシートを活用し、職員意識を高めるために年度当初に職員研修を実施しました。
- ・個人情報に該当する書類を外部に発送する際（FAX、郵便物）は2名体制でダブルチェックを行い、漏洩防止に努めています。
- ・ケースファイル等の個人情報が含まれる書類については、原則として外部への持ち出しは行わないようルール化しています。
- ・施設内で活動するボランティア、実習生には、事前に活動中に知り得た個人情報の守秘義務について説明しました。

(7) 情報公開への取組について

- ・ホームページ上において運営状況や自主事業を含む福祉保健活動に関して、常に最新情報が発信できるよう更新に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・職場内において倫理、虐待についての研修を行い、職員間で人権に対する意識の向上に努めています。

(9) 環境等への配慮及び取組について

職員全員が徹底した分別とごみを出さない努力を行いました。例えば使用済みコピー用紙は裏面も使用し、コピー機に合わない紙はメモ用紙として使用しています。メモが済んだものは切り裂いて「紙ごみ」とし、極力「生ごみ」として出さない等、基本を守るようにしています。さらに生ごみ処理機を設置し、堆肥化した生ごみを併設施設の有機農業に利用することによってごみの減量化に取り組んでいます。また、全館で利用者が使用しない廊下等での電気は消灯、エアコンは停止します。夏場・冬場の冷暖房は省エネ設定温度としています。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

包括3職種に予防プランナー2名（1名は8月退職）

《目標に対する成果等》

関係機関と情報共有し、適切で速やかな対応を心がけていきました。また、研修等にも積極的に参加し自己啓発に努めていきました。

介護予防支援の利用者の増加を目標とせずに、介護にならないための元気な高齢者を地域に増やすための自主事業が増えました。

総合事業についての正しい知識やインフォーマルサービスも積極的に活用し元気になって頂く為、ケアプランへのアドバイスをしたり、栄区内6包括支援センター保健師職等主催の研修や、区役所との共催で介護予防支援・ケアマネジメント従事者研修を実施しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
162	174	172	170	176	183
10月	11月	12月	1月	2月	3月
187	189	192	190	172	182

●居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者 : 1名
- 常勤専従 : 4名
- 非常勤専従 : 1名

《目標に対する成果等》

1. 関係機関と連携、協働の推進

H29年度は、医療と介護の連携の進展をより感じる事ができた年度でもあります。在宅で終末を迎えたいと希望するご本人、ご家族の意向に添い医療従事者と共に在宅支援の役割を担う機会が増えています。

終末期をその人らしく迎える為のケアプランへの取り組みも増える傾向にあります。最期まで尊厳ある自分らしい生活が送れるよう、地域包括ケアシステムを推進していくことが必要だと感じています。地域の体制整備の取り組みにも目を向け、関係機関との連携をさらに進め支援に活かしたいと考えています。

1. ケアマネジャーとしてのスキルの向上

日々の支援の過程の中で私達が成長出来る機会を得ることができ、また多職種との連携を重ねる中でも個々のケアマネジメント力の強化に繋げることができたと感じています。

また、部門内の職員が、ケアマネジャーとしての経験年数を重ねたことで、様々な視点での意見交換が行なわれより支援に活かすことができるようになりました。今後も医療との連携を進めていくために共通言語で支援ができるよう学び続ける必要性があります。個々のスキルが伸びることで支援の質を高めることができ、地域医療との連携に主体的に参加する動機づけにもなっています。

3. 特定事業所加算Ⅱの算定

利用者や家族が休日や夜間でも安心して生活できるよう、24時間の連絡体制を確保し相談支援に取り組みました。また、年間計画に基づいた各研修会への参加や内部研修の開催、事業所内の定例会議による情報共有を行い運営基準減算の適用とならないよう法令遵守に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 特定事業所加算Ⅱの算定  
電話での相談支援を24時間行っています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
144	146	158	158	155	156
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	154	154	157	161	164

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分【1回あたり】

(要介護1) 733円 (要介護2) 861円 (要介護3) 995円  
 (要介護4) 1129円 (要介護5) 1262円

- 食費負担 750円【1回】 ● 入浴加算 53円【1回】

- 口腔機能向上加算 158円【1回】

- サービス提供体制強化加算(I) 19円【1回】

- 介護職員処遇改善加算(I) ※総利用数に応じて加算

- 

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:40 ~ 16:40

《職員体制》

- 管理者 1名 ● 生活相談員 4名 ● 介護職員 16名

- 看護職員 2名 ● 機能訓練指導員 5名

※ いずれの職員も介護予防通所介護職員と兼務

《目標に対する取組状況》

- 季節感のあるデイルームにし、来るのが楽しいと感じられる雰囲気作りをしました。

- 生活とりハビリの理念の基、寝たきり・閉じこもりを作らない取組をしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 買い物という社会参加を通じて、併設の授産施設の利用者とも交流が盛んに行われて、お互いに良好な関係性を築いています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
735	771	769	774	743	710
10月	11月	12月	1月	2月	3月
696	664	666	652	676	747

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供したサービス内容》

- 総合事業

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- 1割負担分【1月あたり】  
（要支援1） 1765円 （要支援2） 3620円

- 食費負担 750円【1回】

- サービス提供体制強化加算(I)【1月あたり】  
（要支援1） 51円 （要支援2） 102円

- 介護職員処遇改善加算(I) ※総利用数に応じて加算

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:40 ~ 16:40

《職員体制》

- 管理者 1名 ● 生活相談員 4名 ● 介護職員 16名
- 看護職員 2名 ● 機能訓練指導員 5名

※ いずれの職員も通所介護職員と兼務

《目標に対する取組状況》

- 体操等による機能訓練を行い、ADLの維持・向上を図りました。
- 季節感のあるデイルームにし、来るのが楽しいと感じられる雰囲気作りをしました。
- 生活とリハビリの理念の基、寝たきり・閉じこもりを作らない取組みをしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 知的障害者施設【授産】を併設している為、パン・お菓子・うどん・陶器等の買い物をする事ができます。
- さらに、レクリエーションとして、うどんや陶器を実際に作る事ができます。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
74	82	66	69	65	66
10月	11月	12月	1月	2月	3月
63	63	58	47	61	63

平成28年度「中野地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,971,778	2,044,536	20,016,314	20,016,314	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	140,100	△ 140,100	事業参加費
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	134,075	△ 134,075	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	132,878	△ 132,878	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)			0	1,197	△ 1,197	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	21,559,278	2,044,536	23,603,814	23,877,989	△ 274,175	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,300,000	0	11,300,000	11,297,516	2,484	
本俸	7,300,000		7,300,000	7,323,371	△ 23,371	
社会保険料	930,000		930,000	927,969	2,031	
手当計	2,700,000		2,700,000	2,685,304	14,696	
健康診断費	30,000		30,000	25,671	4,329	予防医学協会他
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000	9,750	250	ママさん足球会
退職給付引当金繰入額	315,000		315,000	311,547	3,453	
その他	15,000		15,000	13,905	1,095	
事務費	1,108,000	0	1,108,000	1,172,223	△ 64,223	
旅費	2,000		2,000	1,630	370	
消耗品費	200,000		200,000	196,791	3,209	事務用品他
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	85,000		85,000	82,498	2,502	広報紙印刷他
通信費	140,000		140,000	132,050	7,950	電話、切手代他
使用料及び賃借料	0	0	0	87,813	△ 87,813	
横浜市への支払分	0		0	79,413	△ 79,413	
その他	0		0	8,400	△ 8,400	
備品購入費	450,000		450,000	438,048	11,952	レンタル契約他
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	55,000		55,000	57,250	△ 2,250	
職員等研修費	15,000		15,000	14,680	320	
振込手数料	1,000		1,000	540	460	
リース料	35,000		35,000	35,820	△ 820	コピー機
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	50,000		50,000	50,500	△ 500	
その他	75,000		75,000	74,603	397	
事業費	744,000	0	744,000	230,185	513,815	
運営協議会経費	42,000		42,000	36,568	5,432	予算-指定額
指定管理料充当 事業	702,000		702,000	193,617	508,383	事業開催経費等
管理費	3,124,000	2,044,536	5,168,536	8,147,224	17,355	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	0	0	0	2,996,043	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	内訳が一致していません
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,800,000		1,800,000	1,784,288	15,712	
修繕費	474,000	2,044,536	2,518,536	2,518,536	0	予算-指定額
機械整備費	72,000		72,000	72,530	△ 530	
設備保全費	703,000	0	703,000	701,720	1,280	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	103,000		103,000	103,522	△ 522	
電気設備保守	120,000		120,000	119,448	552	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	47,216	2,784	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	430,000		430,000	431,534	△ 1,534	
共益費	0		0	0	0	
その他	75,000		75,000	74,107	893	
公租公課	960,000	0	960,000	903,801	56,199	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	960,000		960,000	903,801	56,199	人件費他
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
一対対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,236,000	2,044,536	19,280,536	21,750,949	525,630	
差引	4,323,278	0	4,323,278	2,127,040	△ 799,805	

自主事業費収入	702,000		702,000	0	702,000	予算-指定管理料を含む
自主事業費支出	702,000		702,000	193,617	508,383	
自主事業収支	0	0	0	△ 193,617	193,617	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	132,878	△ 132,878	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	79,413	△ 79,413	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	53,465	△ 53,465	

**平成29年度「中野地域ケアプラザ」**  
**収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,824,534	△ 483,000	29,341,534	29,341,534	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,952,525	3,836,475	3,836,475	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	6,500	△ 6,500	開催事業参加費
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	129,000	△ 129,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)			0	129,000	△ 129,000	実習礼金
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>35,764,534</b>	<b>△ 2,435,525</b>	<b>33,329,009</b>	<b>33,464,509</b>	<b>△ 135,500</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,606,500	0	30,606,500	30,473,357	133,144	
本俸	15,000,000		15,000,000	14,923,950	76,050	
社会保険料	3,500,000		3,500,000	3,516,309	△ 16,309	
手当計	10,900,000		10,900,000	10,828,297	71,703	
健康診断費	25,000		25,000	22,244	2,757	予防医学協会他
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	35,250	△ 250	ハマなれんど
退職給付引当金繰入額	1,145,000		1,145,000	1,146,092	△ 1,092	
その他	1,500		1,500	1,215	285	
事務費	1,262,000	0	1,262,000	1,224,080	37,920	
旅費	30,000		30,000	29,770	230	
消耗品費	70,000		70,000	66,571	3,429	事務用品他
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	20,000		20,000	17,518	2,482	広報紙発行等
通信費	200,000		200,000	198,490	1,510	
使用料及び賃借料	20,000	0	20,000	21,111	△ 1,111	ルート回収
横浜市への支払分	20,000		20,000	21,111	△ 1,111	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000	57,250	2,750	
職員等研修費	62,000		62,000	61,690	310	
振込手数料	20,000		20,000	19,032	968	
リース料	30,000		30,000	27,648	2,352	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	750,000		750,000	725,000	25,000	
事業費	2,118,572	0	2,118,572	370,003	1,748,569	
協力医	630,000		630,000	147,000	483,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	1,028,572		1,028,572	27,566	1,001,006	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	44,437	264,563	予算:指定額
管理費	859,000	0	859,000	1,622,225	33,191	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	0	0	0	796,416	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	内訳が一致していません
水道料金			0	0	0	
清掃費	500,000		500,000	474,304	25,696	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	20,000		20,000	19,279	721	
設備保全費	193,000	0	193,000	186,528	6,472	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	28,000		28,000	27,518	482	
電気設備保守	32,000		32,000	31,752	248	
害虫駆除清掃保守	13,000		13,000	12,550	450	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	120,000		120,000	114,708	5,292	
共益費	0		0	0	0	
その他	20,000		20,000	19,698	302	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>34,846,072</b>	<b>0</b>	<b>34,846,072</b>	<b>33,689,665</b>	<b>1,952,824</b>	
差引	918,462	△ 2,435,525	△ 1,517,063	△ 225,156	△ 2,088,324	

自主事業費収入	1,488,572			6,500		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,488,572			223,003		
自主事業収支	0			△ 216,503		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			21,111		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 21,111		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 中野地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	9500	33000	80000	3000
	その他	0	370	17788	350
	介護予防ケアマネジメント 費				
	事業・負担金収入			16000	350
	その他		370	1788	
<b>収入合計(A)</b>		<b>9500</b>	<b>33370</b>	<b>97788</b>	<b>3350</b>
支出	人件費	3700	28000	78000	
	事務費		1800	11000	
	事業費		700	16000	
	管理費				
	その他	5000	0	0	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料	5000			
	その他				
<b>支出合計(B)</b>		<b>8700</b>	<b>30500</b>	<b>105000</b>	<b>0</b>
<b>収支 (A)-(B)</b>		<b>800</b>	<b>2870</b>	<b>-7212</b>	<b>3350</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

中野地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ふれあいの会	地域	77,257	地活	7857	69400			77257	
	30名程度		包括						
	原則100円		生活						
ぐるーぶ・なのはなバスハイク	障がい者	9,200	地活	9200					9200
	30名まで		包括						
	無料		生活						
おたすけボラ・中野交流会	地域	1600	地活	1600					1600
	特になし		包括						
	特になし		生活						
なかのDEナイト 「春の宵にカフェまーじゃん」	地域	4040	地活	40	4000			4040	
	20名程度		包括						
	200円		生活						
母の日に手作りスイーツを贈ろう	小学生	10210	地活	10	10200		3342	6196	672
	15名程度		包括						
	600円		生活						
匠の技を学ぶ 「〇〇力あげあげ講座」 3回連続講座	地域	15946	地活	3346	12600		10000	4266	1680
	20名程度		包括						
	600円(3回で)		生活						
DIYこども工作教室	地域	5125	地活	525	4600			4565	560
	25名程度		包括						
	200円		生活						
貸館調理室利用団体合同 調理室掃除&棚卸し	地域	2647	地活	2647				2647	
	30名程度		包括						
	無料		生活						
山田陽治さんによる 自然の楽校	親子	23251	地活	51	23200		16705	4596	1950
	45名		包括						
	500円		生活						
福祉教育(いでたち謝金)	小学生	3000	地活	3000			3000		
	100名程度		包括						
	無料		生活						
ポールウォーキング 体験講座	地域	6361	地活	2761	3600		3342	2459	560
	20名程度		包括						
	300円		生活						
親子で一緒に予防救急 & ふれあい遊び	地域の親子	560	地活	560					560
	20名程度		包括						
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

中野地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
貸館調理室利用団体 合同連絡会(Xmasク リナーパーティー)	地域	3,049	地活	3049				3049	
	30名程度		包括						
	無料		生活						
おせち料理で食そう 「こんにやくづくり講座」	地域	9,000	地活		9000			9000	
	15名程度		包括						
	500円		生活						
このこ・中野	障がい児とその家族	22372	地活	18872	3500			21812	560
	15名まで		包括						
	500円		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **中野地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
地域ケア会議第1回5/24	地域住民、専門職等	285	地活	285				
	24名		包括					
	0円		生活					
地域ケア会議第7回3/16	地域住民、専門職等	7127	地活	7127			7127	
	43名		包括					
	0円		生活					
介護者のつどい 「なかのカフェ」6/17	地域住民	2118	地活	1218	900			2118
	9名		包括					
	100円		生活					
介護者のつどい 「なかのカフェ」9/16	地域住民	1610	地活	710	900			1610
	10名		包括					
	100円		生活					
介護者のつどい 「なかのカフェ」12/16	地域住民	3750	地活	1250	2500			3750
	30名		包括					
	100円		生活					
介護者のつどい 「なかのカフェ」3/17	地域住民	2916	地活	716	2200			2916
	24名		包括					
	100円		生活					
ケアマネ勉強会 1/31	ケアマネジャー等	850	地活	850				850
	36名		包括					
	0円		生活					
「成年後見制度と相続」講座 5/20	地域住民	5568	地活	5568			5568	
	8名		包括					
	0円		生活					
「認知症の人とその家族 理解」講座11/25	地域住民	3342	地活	3342			3342	
	28名		包括					
	0円		生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

中野地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
サードエイジ・ラボ ～人生の充実を研究します～	地域	5,557	地活					
	延べ40名		包括					
	各回500円		生活	5,557				5,557
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					
			地活					
			包括					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいの会	地域の交流の場として、茶話会を中心に様々な行事を開催し、仲間づくり・介護予防の場として身近に集える機会を提供しました。また、ボランティア活動の導入の場としてや包括支援センターの介護予防の啓発の場としても機能しています。今年度も、ボランティアの意見交換会も実施し、ボランティア同士の交流やボランティアをする上での注意点などを確認する場としました。	概ね毎月2回程度開催（22回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこのひろば	地域の子育て活性化と親子の交流の場の提供を目的とします。 おやこCLUBチューリップとの共催により、地域の子育て中の親子を対象に、ケアプラザを会場として交流の場を提供し、様々なレクリエーションを通して親子同士の親睦を図る場をつくりました。	年4回開催 (5・7・10・2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館調理室利用 団体合同連絡会	貸館を利用する地域住民の交流・情報交換の場を提供し、利用時のお願い（備品などの取り扱いや管理方法などの確認・清掃の仕方など）を共有をする機会としました。8月には棚卸しと大掃除、12月には区の食品衛生担当者より食中毒予防の衛生講話を実施した後大掃除もあわせて行いました。（Xmasクリーンパーティー）	2回（8月・12月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なかのDEナイト 「春の宵にカフェまーじゃん」	貸館の夜間の時間帯の利用を増やすことを目的とし、日常ケアプラザに足を運ぶことの少ない年齢層（若年・男性など）にもケアプラザが健康的に趣味などを楽しめる場所であることを認識してもらう機会としました。昨年10月に1度開催したところリクエストが多く再企画。 なお、講座終了後には交流を深めた仲間同士で自主グループ「ナイトまーじゃん・なかの」を立上げ、活動・運営が軌道に乗るまでの期間は、ケアプラザが開催時の設営や見守り等のバックアップを行っていきます。	1回（4月）

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
のこのこ中野	野七里ケアプラザ、小菅ヶ谷ケアプラザとの共催により、休日・休暇中の障がい児の社会参加の場づくりや地域への障がい理解を目的としています。 当日は、昼食づくりやゲーム（ジェンガ）などを行い地域のボランティア、学校や障がい関係機関（サポートセンター径など）とも連携し、協力を得ています。 今年度は中野ケアプラザ会場で実施。 なお、講座終了後希望者には複合館であるSEL P・杜の見学も実施しています。	1回（3月）
ボランティアの集い	ボランティア支援・育成を目的とした、ケアプラザ事業に関わるボランティア間、職員との交流会。 ケアプラザで活動するボランティア同士の活動紹介などを通して横のつながりを深め、新たな活動の広がりを支援しました。	1回（10月）

母の日に手作りスイーツを贈ろう	地域の子どもの交流・余暇支援や幅広い年齢層のケアプラザ利用を目的とし、母の日に合わせた小学生向けのお菓子教室を企画。地域の小学生ボランティアなどへの興味付けも図りました。	1回（5月）
-----------------	---	--------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おせち料理で食そう 「こんにゃくづくり講座」	SEL P・杜の事業協力のもと、食品加工部門の利用者を講師とし、こんにゃく作り講座を実施。 講座を通し、複合館である障がい者施設SEL P・杜の活動を地域に知ってもらう機会や参加者の交流の場としました。	1回（12月）

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
山田陽治さんによる「自然の楽校」	<p>【目的】 親子のふれあい/地域愛着の形成</p> <p>自然観察指導員の山田陽治氏を講師として招き、栄区の自然の豊かさを知り、またその自然の中で親子でふれあい・遊ぶことのすばらしさを通じて、自らが暮らす地域への愛着形成を促しました。</p> <p>今年度は、9月にいたち川で生き物を探し観察するミニ水族館を実施。また、いざという時に役立つ水辺の安全講習も行い、水の楽しさと怖さを再確認してもらった機会としました。</p>	1回 (9月)

スープの会	辰巳芳子氏の良い食材を伝える会と共催し、地域で高齢者・障がい者の介護や子どもの育児に携わる方向けに「体と心にやさしいスープ」の作り方を共有しました。	年間6回開催 (奇数月)
おたすけボラ・中野	地域で暮らす高齢者の生活サポートや担い手の発掘・育成を行ううえで、支えあう地域づくりを目的としています。地域の高齢者、または障がいを持った方の生活上のちょっとした困り事のお手伝いをするボランティアグループの活動で、ケアプラザが事務局となり、定例運営会議などを行いました。	定例会 年6回 活動 随時

匠の技を学ぶ「〇〇力あげあげ講座」3回連続講座	<p>地域住民の交流や仲間づくり、生活技術の向上や地域活動参加へのきっかけ作りを目的とした連続講座を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目は地域の石井造園を講師に招き、庭木の剪定の手法を学びました。</li> <li>・2回目は、住まいの学習館を講師に招き、網戸の修繕の手法を学びました。</li> <li>・3回目は、地域のちょっとした困り事を手伝うボランティアグループ「おたすけボラ・中野」のメンバーに講師役を依頼し、包丁の研ぎ方を伝授。終了後には懇親会を開催し参加者間の交流を図り、地域活動への参加を呼びかける機会としました。</li> </ul>	①5/30 剪定 ②6/6 網戸張替え ③6/13 包丁研ぎ
-------------------------	---	--------------------------------------

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	ボランティア支援・育成を目的とし、横浜市介護支援ボランティアポイント事業「よこはまシニアボランティアポイント」の登録研修会を栄区内ケアプラザ6館で協力して隔月輪番制で実施。区内で活動しているボランティアの方が参加しやすい仕組みとなっており、この事業をきっかけに新しい活動者の発掘にも繋がっています。	7月（1回）

D I Yこども工作教室	地域の子どもの交流・余暇支援を目的として、D I Y協会より講師を招き、夏休みの期間に合わせた小学生向けの工作講座を実施。正しい道具類の使い方を習得したり、自分の手でものを作り上げる喜びを味わってもらう機会としました。	1回（7月）
なかのDEライブ（ボランティア交流・発表会）	ケアプラザを利用して活動を行っている福祉保健活動団体向けに、団体同士の交流と活動内容の紹介・発表の場の提供をすることで、団体の活動の活発化を図りました。地域住民が誰でも参加・観覧できる文化祭形式で開催し、ステージ発表9団体、パネル発表2団体のほか、活動の体験コーナーなども行いました。	1回（9月）

福祉教育	近隣の桜井小学校児童を対象に地域の福祉保健活動の拠点となるケアプラザの役割や機能を知る機会としました。また、障がい者や高齢者・認知症などについて正しい理解をしてもらい、地域で生活する子ども～高齢者までがお互いに支えあうことが、安心して暮らせるまちづくりへと繋がれることを学びました。カリキュラムの最後には、地域の大人と児童との意見交換会も実施。学齢期から福祉教育を行うことで、その体験が福祉に目を向けるきっかけとなるように、学齢に合わせた内容で継続的に学びの場を提供できるよう、学校と連携しながら進めました。	6回 （9月～1月） 共催：包括・生活支援・通所介護部門 区社協、地域の活動者の方々
------	--	---

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
若年性認知症のつどい「笑風の会」	栄区内6館と関係機関が協力し、若年性認知症の人とその家族を支え、自らの医師に基づいて地域福祉の向上に努めました。 若年性認知症の方と家族の集いを栄区内ケアプラザ6館及び関係機関と共催で開催。ご本人向けにはレク、ご家族向けには悩みなどを話し合う懇談会を実施しました。	年3回 (6、11、2月)

ポールウォーキング体験講座	地域住民（特に高齢者）を対象に、ウォーキング用のポールを使用して正しい姿勢で歩くことにより、歩幅を広げて楽に全身運動ができる事を体験してもらう機会としました。講師には、日本ポールウォーキング協会よりマスターコーチプロを招いて実施。	1回（11月）
親子で一緒に予防救急&ふれあい遊び	地域の子育て中の親子の仲間づくりや育児応援を目的とし、子育て支援拠点「にこりんく」や更生保護女性会、栄消防署救急担当の協力により実施。 病気や誤飲などの「もしも」のときに慌てず対処できる方法や救急車を呼ぶタイミング、AEDの使い方など実習を交えながら学びました。 また、体を使ったふれあい遊びで参加者同士の交流の機会としました。	1回（11月）


# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい 「なかのカ フェ」	ボランティアによるハーモニカ演奏に合わせて、唱歌や懐メロを歌う「歌声喫茶」を開催。介護者と介護をされる当事者が共に楽しめるように工夫した。	6月17日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい 「なかのカ フェ」	回想法の講習を受けた地域住民と職員がリードしながら、介護者と認知症の当事者が回想法を通して、ともに楽しむ機会をつくった。	9月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい 「なかのカ フェ」	集客のため、前半は介護予防のフォローアップ講座として音楽療法士を講師に招き、音楽療法を実施。後半に通常の介護者のつどいとして茶話会を行った。	12月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい 「なかのカ フェ」	12月同様、前半は介護予防フォローアップ講座として、ヨガインストラクターを講師に招きアロマヨガを実施。後半に介護者のつどいとして茶話会を実施した。	3月17日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
栄区新任及び就労予定ケアマネジャー研修第1回 「医療連携について学ぶ」	栄区地域包括支援センター・主任ケアマネジャー共催によるケアマネジャー支援。木村内科・胃腸内科の木村貴純院長を招き、新任ケアマネジャーに向けて、医療連携の在り方を教えてもらう機会にした。	7月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区新任及び就労予定ケアマネジャー研修第2回 「主マネに聞いてみよう！」	居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーを講師に招き、実務について学習する機会とした。主任ケアマネジャーの更新要件も鑑み、居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーが講師をすることで証明書を発行出来るようにも考慮した。	8月31日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区新任及び就労予定ケアマネジャー研修第3回 「看護小規模多機能事業所の見学と連携事例について」	看護小規模多機能事業所の見学と、その連携について学習することで、在宅を支えるケアマネジャーとしての広い視点を養うきっかけとした。	11月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区新任及び就労予定ケアマネジャー研修第4回 「薬局薬剤師とケアマネジャーの連携」	区内で開業している柏陽薬局の星野高志薬剤師を講師に招き、薬剤師の居宅療養管理指導を学び、ケアマネジャーが薬剤師と連携をするためのノウハウを学ぶ機会とした。なお今年度続けてきた新任ケアマネジャー研修参加者により、研修企画から研修実施にいたるまでの過程を体験してもらい、自主的に学習する機会をつくることの大切さも併せて学んでもらった。	3月22日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネ勉強会 「生活支援コーディネーターと連携しよう」	生活支援コーディネーターの役割と生活支援体制整備事業について学び、ケアマネジャーからみた「あったらいいな、こんなサービス」というテーマでケアマネジャーと生活支援コーディネーターとの意見交換を実施した。	1月31日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座 「税理士さんが教える相続と成年後見制度」	区民向けに税務のプロである税理士から相続や成年後見制度について、具体的な事例を交えて聴く講座を開催。	5月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座 「知ってあんしん！お墓とお葬式講座」	葬儀社による講座。日頃なかなか聞けないお墓とお葬式の話を知りやすく区民向けに実施した。	8月26日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座 「認知症の人とその家族理解」	前半は「認知症サポーター養成講座」として、広く認知症の理解をしてもらった上で、後半は実際に認知症の家族を介護している地域住民により、介護体験の話をしてもらい、より認知症の方を身近に感じてもらい、理解を深めてもらえるように工夫した。	11月25日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
司法書士・行政書士による権利擁護相談会	区内地域包括支援センターの社会福祉士が協働して、持ち回りで実施した相続・遺言・成年後見制度等の個別相談会。	12月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座「健康寿命をのばす住まい」	老人ホームの入居や利便性の高い地域への住み替え、住宅改修などの小さなものも含めて、自分の過ごす場所を自分で考え、自分らしい生活をしていくことも個別の権利であるという視点から実施した、よりよい住まいを考える講座。一級建築士を講師に迎え、具体的な施行事例を交えて区民向けに話をしてもらった。	2月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区若年性認知症のつどい「笑風の会」	栄区内6地域ケアプラザ共催による若年性認知症の方の当事者及び家族の交流及び情報交換会。本人部会は昼食づくりのための買い物、調理、周辺散策、レクリエーションを実施し、家族部会は情報交換と交流会を実施した。	6月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄区若年性認知症のつどい「笑風の会」	栄区内6地域ケアプラザ共催による若年性認知症の方の当事者及び家族の交流及び情報交換会。本人部会は周辺散策、農協祭り見学等実施。家族部会は朝廣歯科医師により「認知症の人の口腔ケアについて」の勉強会と情報交換会を実施した。	11月26日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
栄区若年性認知症のつどい「笑風の会」	栄区内6地域ケアプラザ共催による若年性認知症の方の当事者及び家族の交流及び情報交換会。本人部会は昼食づくり、買い物と散歩、カラオケ等を実施。家族部会は男女介護者に別れての情報交換を実施した。	2月18日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 上郷町シニアクラブ 第二交友会 「夏場の脳梗塞」	上郷町シニアクラブ・第二交友会の誕生会にて「夏場の脳梗塞」について講話を実施。	7月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 東上郷町共同住宅サロン ムーミンスマイル 「スクエアステップと介護予防」	東上郷町共同住宅サロン・ムーミンスマイルにてスクエアステップエクササイズの実施と、介護予防についての講話を実施。	7月31日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 楽寿会 認知症サポーター養成講座	中野町のシニアクラブ楽寿会における認知症サポーター養成講座。「会員に認知症と思われる方がいるので、その方や家族にどのように対応したらよいかをわかりやすく教えて欲しい」との要望を受けて実施。	8月18日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出前講座 本郷第三地区民生委員・児童委員協議会・認知症サポーター養成講座	本郷第三地区民生委員・児童委員協議会の要請を受けて、認知症サポーター養成講座を実施。	8月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 亀井町シニアクラブ 「いざというときのための老人ホームの選び方」	高齢者ホーム入居相談センターのロイヤル入居相談室の遠藤相談員に講師を依頼し、亀井町のシニアクラブにて「老人ホームの選び方」について出前講座を実施。	11月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 東上郷町共同住宅サロン・ムーミンスマイル 「スクエアステップエクササイズの体験会」	今年度2回目になった東上郷町共同住宅サロン・ムーミンスマイルにてスクエアステップエクササイズの体験会を実施。	11月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座 尾月春秋会 「認知症サポーター養成講座」	尾月のシニアクラブ春秋会に依頼により認知症サポーター養成講座実施。	2月13日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出前講座 上郷町第二交友会「免疫力アップとスクエアステップエクササイズ」	本年度2回目になる上郷町シニアクラブ第二交友会の誕生会における健康講座とスクエアステップエクササイズの体験会を実施。	3月12日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若竹見守りの会の勉強会	若竹町の「若竹見守りの会」に定例会に呼ばれ、栄区徘徊SOSネットワークの説明や、消費者被害の説明など、日頃の見守り活動に必要な情報提供を行った。	6月5日 12月4日

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サードエイジ・ラボ ～人生の充実を研究します～	区内全域の課題である‘新たな担い手発掘’のための講座を6地域ケアプラザと区社協とで共催しました。ボランティア活動につなげることが目標ですが、まずは地域デビューのきっかけになればとも思いました。 第1回マジック・第2回寄せ植え・第3回コーヒーの淹れ方とし、サロン等で披露できるもの+男性が興味を示しそうなものとししました。第3回にはすでに活動されている各地区のボランティアさんに参加して頂き交流会を開催、数名の参加者さんをボランティア活動につなげることができました。	平成29年6/24・7/8・7/22 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数